

特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

プログラム／抄録

代議員総会・会員総会・評議員会	P.23	-
学会賞（シミック賞）受賞講演	P.23	-
プレナリーレクチャー	P.24	P.85
特別教育講演	P.26	P.88
ポジティブトークセッション	P.26	P.90
シンポジウム	P.27	P.91
シンポジウム「治療の手引き」	P.31	P.125
共催シンポジウム	P.32	P.126
ランチョンセミナー	P.34	P.130
イブニングセミナー	P.37	P.136
日本エイズ学会認定講習会	P.38	-
HIV感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会	P.38	P.138
看護師向け研修会	P.38	P.139
ユースプログラム～次世代を担う医療者・支援者向け教育セッション	P.39	P.142
メモリアルサービス	P.39	-
市民公開講座	P.40	P.143

- 日時：11月25日（土）8：30～9：30
- 会場：第1会場（中野サンプラザ13階 コスモ）
- 議長：学術集会・総会会長

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC奨励賞の授賞式ならびにECC奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

第14回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

- 日時：11月25日（土）9：30～10：00
- 会場：第1会場（中野サンプラザ13階 コスモ）
- 座長：松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

※学会員以外の方もお入りいただけます。

プレナリーレクチャー

■日時：11月24日（金）12：50～13：35

■会場：第1会場（中野サンプラザ13階 コスモ）

プレナリー1 （臨床）

座長 岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

PL1 Optimizing ART and PrEP: *From Trials to Implementation*

Kiat Ruxrungtham

Chulalongkorn University / HIVNAT, Thai Red Cross AIDS Research Center

■日時：11月24日（金）13：35～14：20

■会場：第1会場（中野サンプラザ13階 コスモ）

プレナリー2 （社会）

座長 樽井正義（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

■演者

PL2 薬物依存症は孤立の病 — 安心して「やめられない」といえる社会を目指して

松本俊彦

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

プレナリーレクチャー

■日時：11月25日(土) 12:50～13:35

■会場：第1会場(中野サンプラザ13階 コスモ)

プレナリー3 (社会)

座長 根岸昌功(ねぎし内科診療所)

■演者

PL3 Japan's HIV response from a global perspective: moving towards a future without AIDS

Luiz Loures

Assistant Secretary General of the United Nations, Deputy Executive Director, UNAIDS

■日時：11月25日(土) 13:35～14:20

■会場：第1会場(中野サンプラザ13階 コスモ)

プレナリー4 (合同)

第31回日本エイズ学会学術集会プログラム委員会3部門長によるトーク

PL4 ■俣野哲朗(基礎系部門長)

■岡 慎一(臨床系部門長)

■生島 嗣(社会系部門長)

特別教育講演

■日時：11月25日（土）14：30～16：00

■会場：第1会場（中野サンプラザ13階コスモ）

特別教育講演

Basic, Clinical and Social
Approaches toward Global
HIV Control

座長 俣野哲朗（国立感染症研究所エイズ研究センター）

■演者

SEL-1

Metabolic shut down of T cell
activity and function in
chronic HIV Infection

Hendrik Streeck

Institute for HIV Research, University
Hospital, University Duisburg-Essen

SEL-2

Innovative strategies to end
AIDS among key populations

Nittaya Phanuphak

Thai Red Cross AIDS Research Centre,
Bangkok, Thailand

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

ポジティブトークセッション

■日時：11月26日（日）9：00～10：30

■会場：第1会場（中野サンプラザ13階コスモ）

ポジティブトーク セッション

POSITIVE TALK 2017

座長

松下修三（熊本大学エイズ学研究センター長）
高久陽介（特定非営利活動法人日本HIV陽性者
ネットワーク・ジャンププラス）

■演者

HIV陽性者6名

シンポジウム

■日時：11月24日(金) 10:10～11:40

■会場：第1会場(中野サンプラザ13階 コスモ)

シンポジウム 1 コア・サイエンス

座長

佐藤裕徳(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)
俣野哲朗(国立感染症研究所エイズ研究センター)

■演者

SY1-1 HIV-1 コア・サイエンス ～HIV-1 コア(キャプシドコア)崩壊プロセスおよびHIV-1複合体コア(核)移行プロセスのさらなる展望～

武内寛明

東京医科歯科大学 歯学総合研究科 ウイルス制御学

SY1-2 宿主因子APCによるHIV細胞-細胞間伝播制御機構の解明

宮川 敬

横浜市立大学大学院医学研究科微生物学

SY1-3 HIV-1 インテグラーゼ非酵素的機能の分子基盤

増田貴夫

東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科

SY1-4 日本人およびベトナム人 HIV-1 感染者の病態進行の抑制に関する細胞傷害性T細胞

近田貴敬

熊本大学エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室

■日時：11月24日(金) 14:30～16:00

■会場：第1会場(中野サンプラザ13階 コスモ)

シンポジウム 2 コミュニケーションの重要性を見つめなおす ～医療者のホンネ、患者のホンネ～

座長

井上洋士(放送大学/株式会社アクセライト)
武田飛呂城(特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会)

■演者

SY2-1 患者視点から見た医療者とのコミュニケーションと潜在的なメンタルヘルス課題

井上洋士

放送大学/株式会社アクセライト

SY2-2 患者の悩みを聞き出すコツ

羽柴知恵子

名古屋医療センター

SY2-3 HIV 診療医がこころの問題にかかわるとき ～精神科・カウンセリング専門家との協働～

矢嶋敬史郎

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

SY2-4 ぶれいす東京によせられる相談の内容と傾向～病院で相談しにくいこと～

牧原信也

特定非営利活動法人ぶれいす東京

シンポジウム

■日時：11月24日（金）14：30～16：00

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

シンポジウム 3 HIV 将来予測と流行阻止

座長 岡 慎一（国立研究開発法人国立国際医療研究センター）
市川誠一（人間環境大学大学院看護学研究科）

■演者

SY3-1 ゲイコミュニティにおける HIV 抗体検査—『これまで』と『これから』

塩野徳史

大阪青山大学健康科学部看護学科

SY3-3 本邦における HIV 感染者・AIDS 発症者数の動向と ART の医療経済的解析

尾又一実

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

SY3-2 世界の PrEP の取り組みと日本の非 HIV 感染 MSM における HIV/STI 罹患の実態について

水島大輔

国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY3-4 日本国内 HIV 発生動向に関する解析

松岡佐織

国立感染症研究所エイズ研究センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：11月25日（土）10：10～11：40

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

シンポジウム 4 スティグマの払拭は誰が担うのか

座長 生島 嗣（特定非営利活動法人ふれいす東京）
高久陽介（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

■演者

SY4-1 薬害エイズ事件を振り返って

川田龍平

参議院議員

SY4-4 「スティグマの払拭」の観点から見た改正・エイズ予防指針

原澤朋史

厚生労働省 健康局 結核感染症課 エイズ対策推進室

SY4-2 HIV 検査の受検阻害要因としてのスティグマ

塩野徳史

大阪青山大学健康科学部看護学科

SY4-5 GIPA 原則（エイズ対策への当事者の参画）とエンパワーメントの重要性

東 優子

大阪府立大学

SY4-3 いま HIV 陽性者が背負っているスティグマ

井上洋士

放送大学／株式会社アクセライト

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

シンポジウム

■日時：11月25日(土) 14:30～16:00

■会場：第6会場(コンgresクエア中野 B1階 ホールA・B)

シンポジウム 5

地方都市における HIV 検査アクセスの向上

座長 岩橋恒太 (特定非営利活動法人 akta)
今村顕史 (がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科)

■演者

SY5-1 熊本市の HIV 検査相談体制と熊本地震発生後の対応

泉 真理子

熊本市健康福祉局

SY5-3 岡山県でのクリニック検査の事業化の取り組み

和田秀穂

川崎医科大学

SY5-2 地方における効果的な MSM 向けの検査普及とその課題
～保健所を利用した MSM 限定検査会と民間クリニックを活用した検査キャンペーン～

新山 賢

HaaT えひめ

SY5-4 HIV 郵送検査の在り方について

木村 哲

東京医療保健大学 / エイズ予防財団

SY5-5 HIV 陽性患者のアンケート解析からみた HIV 検査における課題

健山正男

琉球大学大学院医学研究科

■日時：11月25日(土) 17:10～18:40

■会場：第1会場(中野サンプラザ 13階 コスモ)

シンポジウム 6

アジアの MSM と HIV
～国を超えた連携を模索する

座長 生島 嗣 (特定非営利活動法人ぶれいす東京)
長谷川博史 (特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

■コメンテーター

Luiz Loures

UNAIDS

Miigaa Myagmardorj

MSM and TG Community Centre Director in Mongolia

イッセイ

9monsters

SY6-2 Implementation of HIV Self Testing and Oral Pre-Exposure Prophylaxis in Taiwan

Wen-Wei Ku

Departments of Internal Medicine, Taipei Veterans General Hospital Hsinchu Branch, Hsinchu, Taiwan / Deputy Secretary-in-general, Taiwan AIDS Society

SY6-3 Getting it online: HIV prevention through Blued

Geng Le

Blued

SY6-4 TestXXX: Multi-city community-led HIV testing campaign at work

Midnight Poonkasetwattana

APCOM Foundation

■演者

SY6-1 GPS 機能付き出会い系アプリを利用する MSM を対象にした、薬物使用、性行動、意識に関する LASH (Love life And Sexual Health) 調査概要

生島 嗣

特定非営利活動法人ぶれいす東京

シンポジウム

- 日時：11月26日(日) 9:00～10:30
■会場：第2会場(中野サンプラザ13階 スカイ)

シンポジウム 7	診療拒否されたのに 私を受け入れる 歯科ネットワークー HIVと共に 生きる人々(PLHIV)が気軽に 通院できる歯科医院ー	座長	松本宏之(東京医科歯科大学歯学部附属病院総合 診療科クリーンルーム歯科外来)
-----------------	---	-----------	---

■演者

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| SY7-1 | プロローグ かかりつけ歯科医を持って
歯科を受診しましょう
鈴木治仁
鈴木歯科クリニック 東京 HIV デンタルネットワーク | SY7-4 | ネットワーク構築を妨げるもの
嘉手納一彦
那覇市保健所健康増進課 |
| SY7-2 | 垣根のない歯科医院との出会い
田中太郎(仮名)
HIV 陽性者 | SY7-5 | ネットワーク運営からわかったもの
澤 悦夫
澤歯科医院 東京 HIV デンタルネットワーク |
| SY7-3 | 東京都エイズ協力歯科医療機関紹介事
業について
堅多敦子
東京都福祉保健局健康安全部エイズ・新興感染症担当 | | |

- 日時：11月26日(日) 10:15～11:45
■会場：第7会場(コンgresクエア中野1階 ルーム1)

シンポジウム 8	STR時代の服薬アドヒアラン スを再考する	座長	今村顕史(がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科) 栞原 健(国立国際医療研究センター病院 薬剤部)
-----------------	--------------------------	-----------	---

■演者

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| SY8-1 | 今だから再考すべきアドヒアランスに
ついて
今村顕史
がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科 | SY8-4 | アドヒアランスに及ぼす生活環境変化
を考える～MSWとして～
藤平輝明
東京医科大学病院 総合相談・支援センター |
| SY8-2 | アドヒアランスについて看護師の役割
杉野祐子
国立国際医療研究センターエイズ治療・開発センター | SY8-5 | 服薬アドヒアランスへの心理士による
関わり
安尾利彦
国立病院機構 大阪医療センター 臨床心理室 |
| SY8-3 | STR時代に薬剤師ができるアドヒア
ランス維持への関わりについて
大石裕樹
国立病院機構九州医療センター薬剤部 | | |

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：11月26日（日）12:50～14:40

■会場：第1会場（中野サンプラザ13階コスモ）

「治療の手引き」

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター・研究所）
岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）
白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）

1. 『手引き version 21』の What's New?

白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

2. ガイドラインにない治療法：NRTI sparing regimen/monotherapy の現状と課題

立川夏夫

横浜市立市民病院

3. PrEP/PEP の現状と課題（Serodiscordant カップルの拳児希望・針刺し事故対応を含む）

鯉淵智彦

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

4. ART era の悪性腫瘍と対応

照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

上平朝子

国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

田中 勝

都立駒込病院感染症科

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター感染症内科

5. 開発パイプラインの HIV/AIDS 治療薬

前田賢次

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所

★なお本セッションは日本エイズ学会の医師認定制度ならびに日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・HIV 感染症指導看護師制度における学会教育研修プログラムです

共催シンポジウム

■日時：11月24日（金）18：50～20：20

■会場：第2会場（中野サンプラザ 13階 スカイ）

共催 シンポジウム 1

HIV medical scientific data
を公正かつ明確に伝えるために～
ドルテグラビル最新データによる
presentation study～

座長 古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社メディカル
アフケアーズ部門）

■演者

SS1-1 古賀一郎

ヴィーブヘルスケア株式会社メディカルアフケアーズ
部門

SS1-2 石原由一郎

デール・カーネギー・ジャパン

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月25日（土）10：10～11：40

■会場：第1会場（中野サンプラザ 13階 コスモ）

共催 シンポジウム 2

HIV 感染症と Aging

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）
岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治
療・研究開発センター）

■演者

SS2-1 HIV 感染者の高齢化と合併症対策

瀧永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

SS2-2 海外演者

共催：MSD 株式会社

共催シンポジウム

■日時：11月25日（土）17：10～18：40

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

共催 シンポジウム 3

TAF based regimenの展望 座長 満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）
岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

SS3-1 NRTI の役割～ Tenofovir の位置付け～

立川夏夫

横浜市立市民病院 感染症内科

SS3-3 TAF への期待と使用経験

潟永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SS3-2 TAF Clinical Study Updates

Martin Rhee

Gilead Sciences, Inc.

共催：鳥居薬品株式会社／日本たばこ産業株式会社

■日時：11月25日（土）17：30～19：30

■会場：第2会場（中野サンプラザ 13 階 スカイ）

共催 シンポジウム 4

薬剤師 workshop HIV 感染者の生涯にわたるレジメンマネージメント（合併症と薬物相互作用 — 薬剤師の観点から）

座長

阿部憲介（国立病院機構仙台医療センター 薬剤部）
増田純一（国立国際医療研究センター病院 薬剤部）

■演者

SS4-1 國本雄介

札幌医科大学附属病院 薬剤部

共催：ヤンセンファーマ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月24日（金）11：50～12：40

■会場：第1会場（中野サンプラザ 13階 コスモ）

ランチョン セミナー 1

Stigma と差別がもたらす患者の Disclosure、Adherence へのインパクトと抗 HIV 治療に求められる役割～ From 30 years of experience in UK and medical science of HIV infection～

座長

古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ）

■演者

LS1-1 Annemiek De Ruiter

ViiV Healthcare

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：11月24日（金）11：50～12：40

■会場：第3会場（中野サンプラザ 14階 クレセント）

ランチョン セミナー 2

30年以上の服薬をどう考える？多様化する患者背景に合わせた ART 選択

座長

白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）

■演者

LS2-1 矢嶋敬史郎

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

LS2-2 立川夏夫

横浜州市市民病院 感染症内科

共催：MSD 株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月24日（金）11：50～12：40

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

ランチョン セミナー 3

ART と医療経済 ～高い治療
成功率の維持に向けて～

座長

横幕能行（国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター）

■演者

LS3-1

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

LS3-3

掛江敦之

鳥居薬品株式会社 開発グループ

LS3-2

藤平輝明

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

共催：鳥居薬品株式会社／日本たばこ産業株式会社

■日時：11月25日（土）11：50～12：40

■会場：第3会場（中野サンプラザ 14 階 クレセント）

ランチョン セミナー 4

プロテアーゼ阻害剤による抗
HIV 治療戦略

座長

満屋裕明（国立研究開発法人国立国際医療研究セ
ンター研究所）

■演者

LS4-1

蜂谷敦子

国立病院機構名古屋医療センター・生体情報解析室

LS4-2

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイ
ズ先端医療研究部

共催：ヤンセンファーマ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月25日（土）11：50～12：40

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

ランチョン セミナー5

本当は伝えたい、じぶんのこと、
治療のこと

座長 生島 嗣（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

■演者

LS5-1 井上洋士
放送大学

LS5-2 HIV 陽性者スピーカー

共催：ヴィーブヘルスクエア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：11月26日（日）11：50～12：40

■会場：第2会場（中野サンプラザ 13 階 スカイ）

ランチョン セミナー6

HIV 検査の現状と展望

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

■演者

LS6-1 和田秀穂
川崎医科大学 血液内科学

LS6-2 高久陽介
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

共催：アリーアメディカル株式会社／鳥居薬品株式会社

イブニングセミナー

■日時：11月24日（金）18：50～19：40

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

イブニング セミナー 1

薬害被害者の長期療養支援に活かす血友病ケアと社会資源の最新情報

座長

池田和子（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）

■演者

ES1-1 佐藤知恵

東京医科大学病院 看護部 日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師

ES1-2 葛田衣重

千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 ソーシャルワーカー

共催：セコム医療システム株式会社

■日時：11月25日（土）18：40～19：30

■会場：第7会場（コンgresクエア中野 1 階 ルーム 1）

イブニング セミナー 2

Realizing HOPE: The Ethics of Organ Transplantation From HIV-Positive Donors

座長

江口 晋（長崎大学大学院 移植・消化器外科）

■演者

ES2-1 Dorry Segev

Johns Hopkins University School of Medicine

共催：SNUC-LT プログラム

日本エイズ学会認定講習会

認定講習会一覧

日時	時間	会場		セッション名
11月24日 (金)	17:10-18:40	第1会場 (中野サンプラザ 13階 コスモ)	ワークショップ1 (WS1) 【医師】	HIV陽性者の死亡原因から見た現状
11月26日 (日)	8:45-10:15	第6会場 (コンgresクエア中野 B1階 ホールA・B)	看護師向け認定講習会 【看護師】	より良い「連携」のための コミュニケーション技術
11月26日 (日)	12:50-14:40	第1会場 (中野サンプラザ 13階 コスモ)	シンポジウム「治療の手引き」 【医師・看護師】	

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第6会場(コンgresクエア中野 B1階 ホールA・B)

症例から学ぶ感染症治療の チームカンファレンス	座長 小谷 宙 (慶応義塾大学病院) 朽木絵美 (がん・感染症センター 都立駒込病院 薬剤科)
----------------------------	---

■症例提示

TR1-1 城川泰司郎

東京医科大学病院 臨床検査医学科

■演者・コメンテーター

TR1-3 青木 眞

Freelance、感染症コンサルタント

TR1-2 関根祐介

東京医科大学

看護師向け研修会

日時	時間	会場		セッション名
11月26日 (日)	8:45-10:15	コンgresクエア中野 F1 ルーム4	看護師向けモーニングレ クチャー (対象:指導看護師)	「地域包括ケアシステム推進 に向けHIV外来看護を捉えな おす」
11月26日 (日)	10:15-11:45	第6会場 (コンgresクエア中野 B1階 ホールA・B)	看護師向けアドバンスト 研修(対象:指導看護師)	「指導看護師としてHIV/ AIDS看護の課題に取り組む ために」 ※事前申込制。 参加を希望される場合は、 p342(140)ページをご確 認ください。

コースプログラム～次世代を担う医療者・支援者向け教育セッション

■日時：11月26日（日）13：00～15：00

■会場：第7会場（コンgresクエア中野 1階 ルーム1）

コース向け
セッション

HIV/AIDSのチーム医療/支援はオモシロい！

■対象：保健、医療、心理、福祉系、公衆衛生、健康教育などを勉強する学生。

申し込み制：先着50人

詳細は、第31回日本エイズ学会学術集会・総会のホームページをご覧ください。

<http://aids31.ptokyo.org/>

企画・運営：第31回日本エイズ学会学術集会・総会 プログラム委員会

メモリアルサービス

■日時：11月26日（日）10：40～11：40

■会場：第1会場（中野サンプラザ 13階 コスモ）

メモリアル
サービス

第7回世界エイズディ・メモリアルサービス

■招きの言葉：長谷川博史

■メッセージ：第31回日本エイズ学会学術集会・総会会長 生島 嗣、他5名（予定）

■歌とキャンドルビジュアル

宗教を超えて、HIV/AIDSと共に生き亡くなった人、今、病と共に生きている人、家族やパートナー、友人、医療に携わっている人、支援者、同じ時代に同じ世界に生きているすべての人、そしてこれからの時代を担っていく人のことを覚え、祈り、心を一つにする時間を共に過ごしましょう。

HIV/AIDSになんらかのかかわりを持つ人たちが、気兼ねなく自分自身でいることのできる空間と時間を共にし、過去、現在、そして未来の人たちや世界、そして参加者自身に心を馳せる時間にしましょう。

■日時：11月26日（日）15：30～17：00

■会場：第6会場（コンgresクエア中野 B1 階 ホール A・B）

市民公開講座

日本の HIV/ エイズの現状と
課題

司会 佐々木恭子（フジテレビアナウンサー）

平成 29 年 6 月 25 日現在、3 万人弱の HIV 感染者及びエイズ患者が国内で報告されています。日本の現状や課題が、どうなっているのかを専門家と一緒に考えます。演者には、厚生労働省「エイズ動向委員会」委員長である岩本愛吉氏、「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究班」主任研究者である横幕能行氏をお招きします。また、フジテレビの佐々木恭子氏が CSR の一環として司会で参加します。

プログラム：

■挨拶：厚生労働省 健康局 結核感染症課

■演者 1：日本の HIV/ エイズの現状と課題

岩本愛吉（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 戦略推進部長）

■演者 2：我が国の HIV 感染症 / エイズ診療の現状

～個々が日々留意すべき健康の問題となった HIV 感染症 / エイズ～

横幕能行（国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター エイズ総合診療部長）

■ディスカッション：

岩本愛吉、横幕能行、生島嗣（第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会会長）

■司会：

佐々木恭子（フジテレビアナウンサー）

1999 年より「とくダネ!!」にメインキャスターとして出演。「新・報道 2001 ワイドナショー」後半の MC を担当。2005 年より、FNS チャリティキャンペーンで世界の貧困国の取材をし、2006 年からは、HIV/ エイズをテーマに、マラウイ共和国、パプアニューギニア独立国、ガイアナ共和国を取材。2009 年には、取材で出会った、HIV/ エイズと闘う 6 人の子どもたちの物語「それでも、笑顔で生きていく。」を出版。2006 年～2007 年には国内の HIV も取材し、多くの陽性者、医療者の取材も行った。